

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県、江田島市	地域再生計画名	瀬戸内の歴史や多島美による魅力を世界に向けて発信するみなとづくり計画
計画期間	平成27～令和3年	評価責任者	広島県土木建築局 港湾漁港整備課長 高橋直樹、江田島市土木建築部 建設課長 古江好典		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標	内容	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	達成率	達成率		達成率	達成率		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	厳島港において、宮島観光に訪れる外国人観光客数を58,000人増加させる。(H26(H22東日本大震災前):約117,000人)	117千人/年	H26	-	-	-	175千人/年	R3(R1)	(344千人/年)	○	指標達成率	96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。しかし、新型コロナウイルスの影響により令和2年は37千人/年となっている。
	指標 2	厳島港において、観光客の動線となる浮桟橋や緑地の動線延長266mのリアフリー化を図る。	0m	H26	-	-	-	266m	R3	266m	○		96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標 3	小用港において、係留施設の整備により、新たに漁船や小型船等24隻が係留出来る区域を確保する。	0隻	H26	-	-	-	24隻	R3	24隻	○		96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標 4	厳島港及び釣士田港において、防波堤の整備により、荒天時に避難している漁船や小型船等117隻の避難を解消する。	0隻	H26	-	-	-	117隻	R3	57隻	△		96	事業進捗の遅れにより、目標値を下回ったものの、港整備交付金の活用により、厳島港及び釣士田港の一地区については、一定の成果を上げることができた。残事業については、新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。
	指標 5	音戸漁港において、係留施設の整備により、漁船の準備・陸揚用の係船岸充足率を40%増加させる。(H26:53%)	53%	H26	-	-	-	93%	R3	53%	△		96	事業進捗の遅れにより、目標値には至っていないが、防波堤15mの整備は完了し、係留施設についても整備中である。残事業については、新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。
	指標 6	厳島港において、紅葉シーズン(11月)における1日当たりの最大渋滞長(広島～宮島口間)を、1.7km減少させる。(H26:4.7km)	4.7km/日	H26	-	-	-	3.0km/日	R3	2.6km/日	○		96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標 7	美能漁港において、係留施設(養殖用斜路)の整備により、かき筏の搬入・搬出時の潮待ち時間を390時間/年短縮する。	390時間/年	H26	-	-	-	0時間/年	R3	0時間/年	○		96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標 8	倉橋漁港(本浦地区)において、外郭施設及び係留施設を整備することにより、小型船35隻が安全に係留できる区域を確保する。	0隻	H28	-	-	-	35隻	R3	35隻	○		96	港整備交付金の活用により、目標を達成することができた。
	指標 9	倉橋漁港(室尾地区)において、外郭施設を整備することにより、小型船60隻が安全に係留できる区域を確保する。	0隻	H28	-	-	-	60隻	R3	12隻	△		96	事業進捗の遅れにより、目標値を下回ったものの、港整備交付金の活用により、一定の成果を上げることができた。残事業については、新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	該当なし												

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H29)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業 外郭施設 係留施設 港湾環境整備施設 臨港交通施設	850m 3基、146m 11,430m2 340m	—	580m 3基、146m 8,200m2 200m	当初予定していなかった各種調整等に時間を要し、一部、整備中の箇所がある。残事業については、新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。
	漁港整備事業 外郭施設 係留施設	285m 8基	—	125m 4基	一部、事業進捗の遅れにより、外郭施設及び係留施設ともに整備中の箇所がある。残事業については、新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。
その他の事業	瀬戸内 海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取組を実施。			地方創生の実現に向けて、国内外からの多くの観光客を誘致するべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域製品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。
	宮島口まちづくり構想	「宮島口」を国際観光交流ゾーンに設定し、観光・交流を先導する役割を担う歴史文化発信拠点として位置付け、歓迎空間の形成などの取組を実施。			平成27年に『宮島口まちづくりの国際アイデアコンペ』を実施し、この結果を踏まえ、廿日市市は平成28年3月に、今後の宮島口のまちづくりにかかるコンセプトを定める『宮島口まちづくりブランドデザイン』を策定した。これに基づき現在は、宮島口のまちづくりを推進している。
	フェリーターミナル整備事業	「宮島口」において、施設利用者の利便性の向上と、交通弱者への対応及び大規模災害発生時の避難を考慮したフェリーターミナルの整備を実施。			令和元年度に宮島口旅客ターミナルが完成し、供用を開始した。
	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。			県内のビジター桟橋や横浜ポートショー等でのクルージングアンケート結果等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。
	音戸町まちづくり協議会によるイベント活動	新鮮な魚介類や地元特産品を地元や観光客へ提供し、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施。			呉市音戸町の鯛浜地区では、地域の賑わいと活気を生み出そうと協議会が立ち上げられ、音戸名物の「ちりめん」や「いりこ」などを毎月第1土曜日に開催する「音戸の瀬戸ふれあい広場 朝市」で、観光客等に提供し、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施している。また、市の無形文化財となっている「音戸清盛祭」などのイベントを通じ、瀬戸内の歴史を発信している。
	廿日市市道 赤崎3号線・14号線改良事業	世界に誇れる国内有数の観光地「宮島」の玄関口となる「宮島口」において、観光シーズン等の慢性的な渋滞解消に向け市道の改良を実施。			赤崎3号線・14号線の改良事業について、早期完成を目指し事業を進めている。
	宮島口地区周辺渋滞対策事業	観光シーズン等の慢性的な渋滞に対応するため、交通誘導員の配置やパーク＆ライド、駐車場満空情報案内などのソフト対策を実施。			ソフト対策に加え、令和4年度には立体駐車場を整備し供用開始した。
	江田島市カキ祭り	江田島市では、県内各地の人々と食を通じた交流促進や地域の活性化を図る目的として、毎年「江田島市カキ祭」を開催している。			地元産のカキのむき身を中心とした販売を行う「カキ祭」を毎年2月頃に開催し、県内各地の人々と食を通じた交流促進や地域の活性化を図っている。また、江田島市の豊かな自然で育った農水産物も扱い、開催地である小用港等のみなとの魅力を観光客等に伝えている（ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2～5年は中止）。
	西部地区における水産環境整備事業	藻場が付着するための投石や構造物の設置により、漁場機能の回復による水産資源の維持・増加を図る。			平成24年度から平成29年度まで、投石等の増殖場の整備をし、その後も漁場機能の回復を図るために、増殖場中心とした集中的な種苗放流等が行われ、水産資源の維持・増加を図り、魅力あるみなとづくりの取組を継続している。
	宝島くらはしまちづくり協議会によるイベント活動	毎月最終日曜日に地域の特産物である活魚などを販売する「くらはしお宝朝市」を開催するなど、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施。			倉橋地域では、いわし船びき網やカキ養殖業が盛んに行われており、ここでの漁獲を朝市で販売し、漁業の振興を図っている。また、遣唐使船まつりなどのイベントも実施し、これらの取組を「宝島くらはし（まちづくりセンターだより）」として毎月発行し、ホームページなどで地域の魅力を発信している。
計画外で独自に実施した事業	該当なし				
④評価方法	関係部署で目標値の実施状況に関する評価・検討を行い、学識経験者に説明し、意見徴収した結果を踏まえ、計画全体の評価および今後の方針とした。				
⑤事後評価の公表方法	広島県ホームページ、江田島市ホームページ				
⑥計画全体の総合評価	本計画では、地方創生港整備推進交付金を活用し、港湾整備と漁港整備の連携を行うことにより、国内外の観光客などの施設利用者及び漁業活動の利便性・安全性が向上され、地域の活性化に寄与したと考えている。本事業のさらなる効果の発現に向けては、引き続き、関連事業との連携を図りながら、残事業の推進を行っていく必要があると考えている。				
⑦今後の方針等	本計画の残事業を含めた新たな地域再生計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）を策定し、引き続き、整備を推進していく。				